

大分県立芸術文化短期大学

学長プロジェクト

白杵舞台の種まく旅人 「映画と篠笛の集い」 篠笛 生演奏

10月28日 曜日

開場：14:00

映画上映：14:30

篠笛コンサート：17:00

大分県立芸術文化短期大学

芸術棟3F A講義室

入場無料



狩野泰一（かのう やすかず）

1963年、東京生まれ。13歳でドラムを始め、一橋大学在学中にライブ活動を開始する。ニューヨーク留学中、自己のアイデンティティーに目覚め帰国。1987年「鼓童」のメンバーになって以来、カーネギーホール、ベルリンフィルハーモニーホール、パリ市立劇場を始めとする世界20ヶ国で千回を超える公演に参加。1997年に独立する。現在、佐渡島に暮らしながら日本古来の「篠笛」の可能性を広げ、自然でこころよいコンサート、ワークショップや講演を行っている。



監督：塩屋 俊 音楽：狩野泰一

大分県白杵市を舞台に、お茶の有機栽培を営む人々が織り成すドラマを描く。農林水産省の役人・大宮金次郎は、全国各地の農家をまわっては作業を手伝い、酒を酌み交わすという変わり者だが、農家の人々の間では「風来坊の金ちゃん」と呼ばれ親しまれていた。ある時、金次郎は大分県白杵市で緑茶の有機栽培を行っている修造のもとを訪れるが、修造が心臓発作で倒れてしまい、リストラされて東京から戻ってきたばかりの孫娘のみのりが茶畑の世話をすることになるが……。